

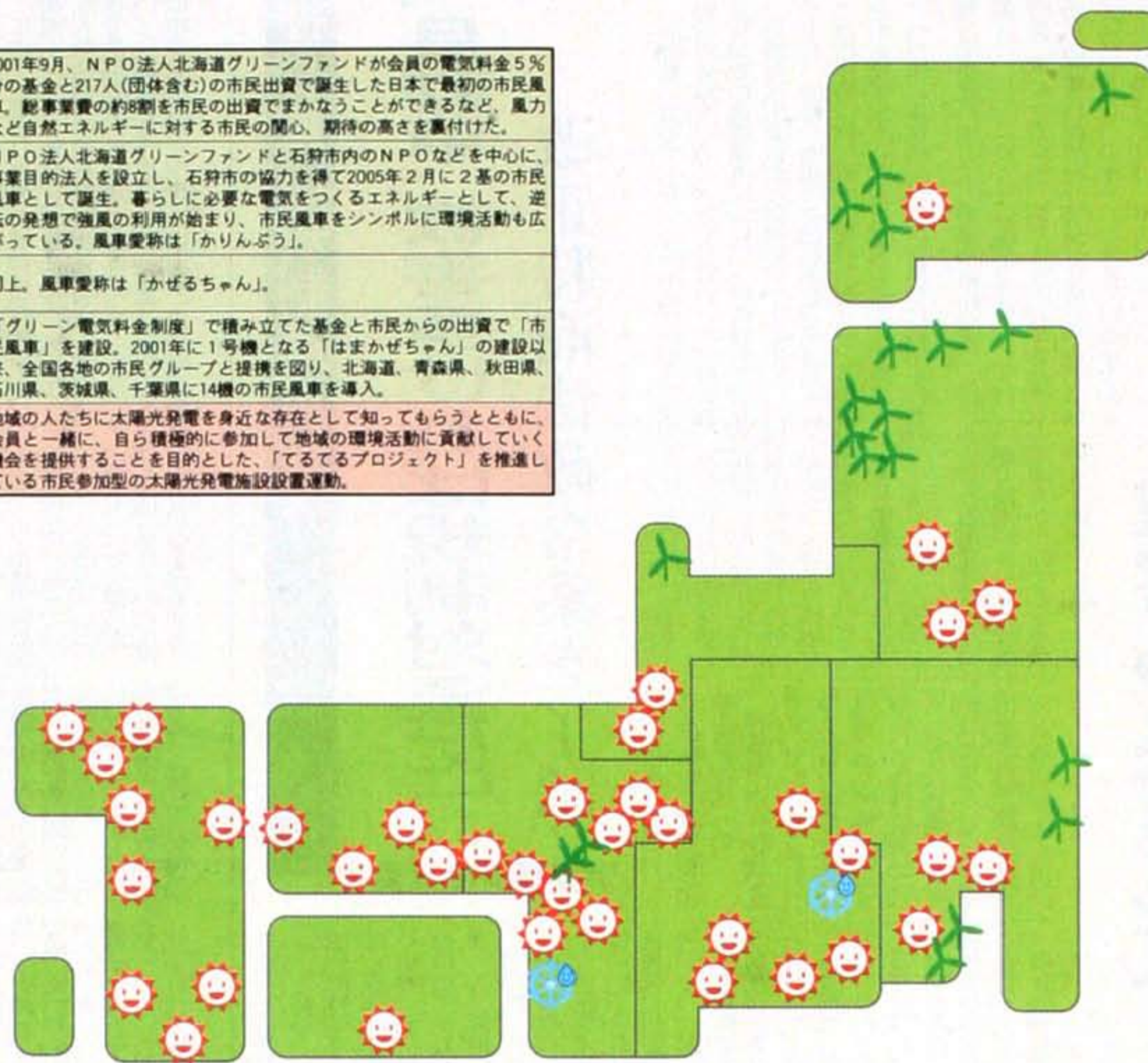
# 全国に広がる市民共同発電

## 自ら生み出す再生可能エネルギー

原発事故に伴い、地球環境に優しく再生可能なエネルギーへの期待が高まったこともあり、市民やNPO、自治体、企業などが事業主体となる「市民共同発電所」が全国で相次いで設置されている。全国で100以上の事業主体が立ち上がっていると思われるが、本紙はこのほど、緊急の全

国アンケートを約70団体に對して行った。北海道から九州までさまざまな事業主体が取り組んでおり、寄付によるものや、出資を募るファンド(基金)形式など地域の特性や市民のニーズによって資金調達の工夫がされている。今後こうした動きは加速しそうだ。

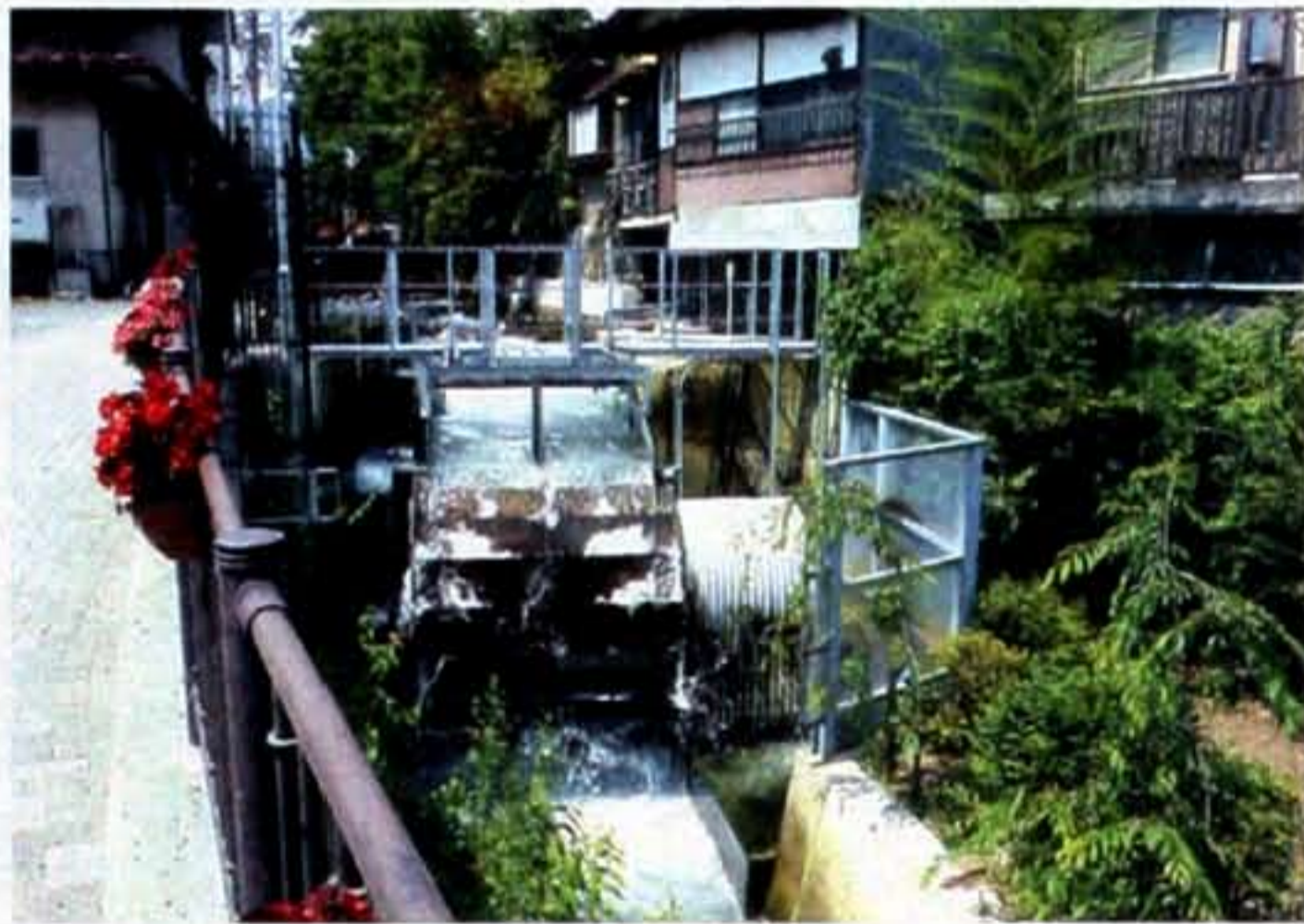
※注一 一覧表はアンケートに対する回答のほか、ホームページやすでに公表されている資料から作成しました。



北海道			
風力	株式会社 浜頓別市民風力発電	北海道 浜頓別市	2001年9月、NPO法人北海道グリーンファンドが会員の電気料金5%分の基金と217人(団体含む)の市民出資で誕生した日本で最初の市民風車。総事業費の約8割を市民の出資でまかなうことができるなど、風力など自然エネルギーに対する市民の関心、期待の高さを裏付けた。
風力	一般社団法人 いしかり市民風力発電	北海道 石狩市	NPO法人北海道グリーンファンドと石狩市内のNPOなどを中心に、事業目的法人を設立し、石狩市の協力を得て2005年2月に2基の市民風車として誕生。暮らしに必要な電気をつくるエネルギーとして、逆転の発想で強風の利用が始まり、市民風車をシンボルに環境活動も広がっている。風車愛称は「かりんぼう」。
風力	一般社団法人 グリーンファンド石狩	北海道 石狩市	同上。風車愛称は「かぜるちゃん」。
風力	NPO法人 北海道グリーンファンド	北海道 札幌市	「グリーン電気料金制度」で積み立てた基金と市民からの出資で「市民風車」を建設。2001年に1号機となる「はまかぜちゃん」の建設以来、全国各地の市民グループと提携を図り、北海道、青森県、秋田県、石川県、茨城県、千葉県に14機の市民風車を導入。
太陽光	NPO法人ひまわり種の会	北海道 札幌市	地域の人たちに太陽光発電を身近な存在として知ってもらうとともに、会員と一緒に、自ら積極的に参加して地域の環境活動に貢献していく機会を提供することを目的とした、「てるてるプロジェクト」を推進している市民参加型の太陽光発電施設設置運動。



はまかぜちゃん(北海道浜頓別町、北海道グリーンファンド提供)



山梨県都留市の水車「元氣くん2号」(都留市政政策形成課提供)



風力発電  
太陽光発電  
水力発電

風の力で風車を回し回転運動を発電機に伝えて電気エネルギーを起こす。発電コストが低く、夜間も稼働、変換効率も高い。

太陽の光エネルギーを太陽電池で直接、電気に変える。汎用性が高く家屋やビルの屋上に設置できるため普及が進んでいる。

ダムや川などの落差を利用して発電。農山村では古くからエネルギー源として利用。安定した発電と技術が確立されている。

※このほか再生可能エネルギー発電としては動植物などの生物資源(バイオマス)により電気や熱を創る「バイオマス発電」や、地下に蓄えられた地熱エネルギーを利用した「地熱発電」などがある。



天風丸(秋田県湯上市、北海道グリーンファンド提供)

関東			
風力	一般社団法人 波崎未来エネルギー	茨城県 神栖市	全国10番目の市民風車。地域の資源である風エネルギーを市民自らが風力発電事業として有効活用することにより、その収益を自然エネルギーの普及啓発や環境保全、地域振興や活性化事業として地域に還元している。
風力	一般社団法人 うなみ市民風力発電	千葉県 旭市	2006年7月に誕生。風車の愛称「「かざみ」募集のあり、地元小学校と風車見学の話しが進み、風車据付に合わせて実施した。親子連れで現場を訪れる姿も見られ、地域のシンボルとして親しまれている。
太陽光	足元から地球温暖化を考える市民ネットワーク	東京都 江戸川区	フロンガス回収、市民立江戸川第1発電所建設、ものぐさ省エネ&節電所など。「足温ネット」は、江戸川区在住のメンバーを中心に地域で活動。
太陽光	NPO法人 エコメッセ	東京都 世田谷区	自然との共生を優先したまちづくりを實踐し、環境に負荷をかけない循環型社会をつくりだす環境まちづくりNPO。緑が豊かで、誰もが歩きたくなる街並みや、自然エネルギーの普及で環境負荷のない暮らしの実現を目指している。
風力	横浜市	神奈川県 横浜市	自然エネルギーの利用促進や地球温暖化対策に寄与し、市民1人ひとりが具体的な行動を起こすきっかけとする事業として風力発電事業を開始。市債発行による市民の参加と企業協賛により、市民、事業者、行政が協働で取り組む。
風力	NPO法人 ソフトエネルギープロジェクト	神奈川県 横浜市	横浜市を中心として神奈川県内外に対し、自然エネルギー・省エネルギーに関する環境教育・普及啓発を推進し、二酸化炭素(CO2)の削減を図ることを目的。
太陽光	ちがさき自然エネルギーネットワーク	神奈川県 茅ヶ崎市	自然の恵みを上手に受ける工夫、環境にやさしいエネルギーを作って、大切に使うノウハウを共有し、自然エネルギーを取り入れた災害にも強いまちづくりを実践的に学ぶ場を提供。

東北			
風力	一般社団法人 市民風力発電おおま	青森県 大間町	青森県八戸市を中心に活動するNPO法人グリーンシティが中心となり、2006年2月に市民風車が誕生。化石燃料に頼らず、省エネルギーと太陽の恵みである太陽光・風力・バイオマス等の活用により自然エネルギー100パーセントのコミュニティを目指し、捨てるもの無いゼロエミッションの自立した循環型社会の実現をめざして活動している。
風力	NPO法人 グリーンエネルギー青森	青森県 青森市	2003年3月から鯉ヶ沢町において風力発電を行っており、12年2月に風力発電事業を一般社団法人グリーンエネルギーに承継。役員はNPOの理事が3人就任している。現在、2基目の計画を進めている。
風力	一般社団法人 グリーンエネルギー鯉ヶ沢	青森県 鯉ヶ沢町	循環型社会の実現と地域の自立の両立を目的に設立したNPO法人グリーンエネルギー青森が2003年2月に運転を開始した市民風車。出資への配当からの寄付+グリーンエネルギー青森などによる支出を原資とするまちづくり基金事業「鯉ヶ沢マッチングファンド」や「市民風車ブランド」として地域の農産品などの紹介も行なっている。
風力	NPO法人 北海道グリーンファンド	秋田県 湯上市	風車愛称「はまかぜ」ちゃんを生み出したNPO法人北海道グリーンファンドが、「市民風車の会あきた」とともに2003年3月に建設した市民風車。市民風車の会あきたでは、県内初の市民風車を地域の環境活動に活かそうと自然エネルギー、省エネルギーをテーマにしたセミナーの開催や見学会などを行い、天風丸に続く、風こまち、芋太郎の建設にも携わっている。
風力	一般社団法人 秋田未来エネルギー	秋田県 秋田市	秋田で2、3号機目の市民風車として2006年3月に誕生。風車の愛称「風こまち」は、秋田市教育委員会の協力を得て市内の小学生を対象に実施され、秋らしいネーミングとなっている。
風力	一般社団法人 あきた市民風力発電	秋田県 秋田市	秋田市民風車3兄弟の1つで愛称の「芋太郎」は東北三大祭の一つ「竿燈(かんとう)まつり」から一文字とったもの。
風力	一般社団法人このうら市民風力発電	秋田県 にかほ市	日本で停滞している再生可能エネルギーの普及促進に寄与すること、グループのCO2削減を目的として鶴岡市が風力発電事業へ参入。「ワタミの夢風車 風民(ふーみん)」を稼働させている。
風力	一般社団法人グリーンファンド秋田	秋田県 にかほ市	生活クラブ首都圏4単協が出資および融資をして参画・運営。生活クラブ北海道の活動を通して生まれたNPO法人北海道グリーンファンドと共同して愛称「夢風」風車を稼働。
太陽光	夢いきいき共同発電所の会	山形県 山形市	自然エネルギーを推進し、地域循環型社会を目指した活動を展開している。シンポジウム開催や、菜の花プロジェクトの實踐として菜の花作付けも行って、環境やまがた村山地域も受賞している。エネルギーシフトの勉強会をシリーズで共催している。
太陽光	福島太陽光発電所企業組合	福島県 福島市	未来のために、出来る限り最大の努力をしてみようということで結成された組織。太陽光発電事業を軸に、次代を担うプロジェクトへの投資やサポート実施。
太陽光	NPO環境保全かいぎあいづ	福島県 会津若松市	地球環境のCO2削減を目指した調査・研究や啓発活動に限らず、実践普及活動にも取り組む。また、太陽光を生かした会津市民共同発電所第一号機に続き、小水力を生かした市民風車第二号機を目指して勉強会を実施。